

The logo for 'le bain by RELIANCE' is centered within a white rectangular area. The text 'le bain' is in a lowercase, sans-serif font, and 'by RELIANCE' is in a smaller, uppercase, sans-serif font below it. A thin red border surrounds the text, and a solid red rectangular block is positioned directly below the white area.

le bain  
by RELIANCE

# 環境経営レポート'25.04~'26.03

株式会社リラインス

作成 2026.5.1

## ■ 環境経営方針

---

(環境基本理念)

株式会社リラインスは、企業市民として、また全従業員ひとりひとりが人間として、地球への環境負荷軽減に努め、次世代への責任を果たします。

バーバラ・ウォード女史提言の

「*Think Globally, Act Locally* (地球規模で考え、足元から行動せよ)」  
をスローガンとして取り組みます。

1. 環境関連の法令や協定を積極的に遵守し推進する。
2. エネルギー使用量や廃棄物に関する自主管理基準を作成し、継続的評価改善に努める。
3. 製品設計・製造にあたり環境アセスメントを実施する。
4. 梱包材の減量化、リサイクル、再生材使用に努める。
5. 全従業員に対する教育啓発を実施する

2018年4月18日

株式会社 リラインス  
取締役社長 利重義明

## ■ 環境経営目標 2025 年度（昨年）

---

### 1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO<sub>2</sub>)

66,500                      内訳) ①本社 15,000    ②SR 9,500    ③センター 42,000

### 2. 廃棄物排出量の削減

コピー用紙使用量の削減 (kg)

2,100                      内訳) ①②本社・SR 800    ③センター 1,300

### 3. 水道の使用量の削減 (m<sup>3</sup>)

270                      内訳) ①センター 270

### 4. 環境アセスメントとしての施策

新規開発製品の設計時における環境負荷チェック

## ■ 環境経営目標 2025 年度（昨年） 主要な環境活動計画の内容

1. 電気使用量
  - ①節電プランの維持
    - ※遮熱フィルム温度抑制の継続（新宿のみ）
    - ※不要な照明の消灯・間引き
  - ②空調設備の刷新（センター）と温度管理（全社）
2. 廃棄物排出量 社内文書のペーパーレス化の推進（デジタル化）
3. 水道の使用量 東京物流センター：節水の励行
4. 環境アセスメント 設計時に製品が及ぼす環境負荷を考慮し、チェックシートにて記録する  
SDGs の観点より、新製品・流動品に関わらず、省資源／再生利用／  
再利用／ごみ削減／CO<sub>2</sub>削減に関する基準の適合・不適合判定も確認

## 環境経営目標の実績 & 環境経営活動の取組結果の評価

	CO <sub>2</sub> 排出量 (Kg-CO <sub>2</sub> )			コピー用紙使用量の削減 (Kg)			水道使用量の削減 (m <sup>3</sup> )			新規開発品	コメント (未達成に対する)
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率		
2020	76,126	69,565	91.4%	2,000	2,064	103.2%	280	268	95.7%	環境負荷チェック 4件	新型コロナにて在宅勤務増 ITイワ関連、電力量減らず
2021	70,000	56,910		2,100	2,116	100.8%	270	271	100.4%	環境負荷チェック 6件	いずれもほぼ目標通りの為、 わずかな意識で達成可能
		9,453									
		66,363	94.8%								
2022	69,125	54,989		2,100	2,090	99.5%	270	259	95.9%	環境負荷チェック 8件	CO <sub>2</sub> ・コピー用紙・水道いずれ も達成
		10,398									
		65,387	94.6%								
2023	68,250	50,112		2,100	2,054	97.8%	270	258	95.5%	環境負荷チェック 4件	CO <sub>2</sub> 排出量が大きく減少。 2023/1~本社・物流センター ともLED化
		10,518									
		60,630	88.8%								
2024	67,375	54,642		2,100	1,904	90.7%	270	235	86.85%	環境負荷チェック 5件	コピー用紙使用量減少。 会議使用資料のモバイル閲覧 や承認フローシステム導入効 果が影響か。
		8,719									
		63,361	94.0%								
2025	66,500	55,216		2,100	1,727	82.2%	270	242	89.6%	環境負荷チェック 2件	引き続き、コピー用紙使用量 減少。請求書電子化、社内回 覧承認フロー利用等で更に削 減を見込む。
		6,469									
		61,685	92.8%								
中期目標 達成状況 ~2030年	63,348		95.3%	2,100		82.2%	242		100.00%		

※2021年～  
・実績を電気とガソリンに分類

### 環境活動の取組結果の評価

電力購入先：東京電力（本社）  
排出係数：0.476kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
電力購入先：オリックス（物流センター）  
排出係数：0.595kg-CO<sub>2</sub>/kWh

※調整後排出係数

## ■ 環境経営目標 2026 年度と中期目標（～ 2030 年まで）

1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO<sub>2</sub>) 中期目標： 63,348kg-CO<sub>2</sub>以下に抑える  
65,842                      内訳) ①本社 14,852    ②SR 9,406    ③センター 41,584
2. 廃棄物排出量の削減 中期目標： 1,890kg以下に抑える  
(現状維持)  
コピー用紙 (A3/A4限定) 使用量の削減 (kg)  
2,058                      内訳) ①②本社・SR 784    ③センター 1,274
3. 水道の使用量の削減 (m<sup>3</sup>) 中期目標： 242m<sup>3</sup>以下に抑える  
(現状維持)  
242                      内訳) センター 242
4. 環境アセスメントとしての施策  
新規開発製品の設計時における環境負荷チェック

## ■ 次年度（2026年度）環境経営活動計画の内容

1. 電気使用量
  - ①節電プランの維持
    - ※遮熱フィルム温度抑制の継続（新宿のみ）
    - ※不要な照明の消灯・間引き
  - ②空調温度管理
2. 廃棄物排出量
  - 社内文書のペーパーレス化の推進（デジタル化）
  - ※請求書電子化、承認フローシステム利用、クラウド経費精算
3. 水道の使用量
  - 東京物流センター：節水の励行
4. 環境アセスメント
  - 設計時に製品が及ぼす環境負荷を考慮し、チェックシートにて記録
  - SDGsの観点より、新製品・流動品に関わらず、省資源／再生利用／再利用／ごみ削減／CO<sub>2</sub>削減に関する基準の適合・不適合判定も確認

## ■ その他

---

1. 環境関連法規への違反（廃棄物処理および清掃に関する法律、消防法、容器包装リサイクル法、労働安全衛生法、道路交通法・道路運送車両法ほか）
2. 訴訟等の有無
3. 外部からの苦情等の受付結果

環境関連法規に関する違反はありません。

また、過去3年間、関係機関及び利害関係者からの環境に関する訴訟や苦情はありません。

4. 問題点の是正処置及び予防処置の結果

是正予防の処置を講じるような重大な問題は特になし。

5. 代表者による全体評価と見直し

変更が必要となるようなシステムやパフォーマンスに関する問題点は生じていない。

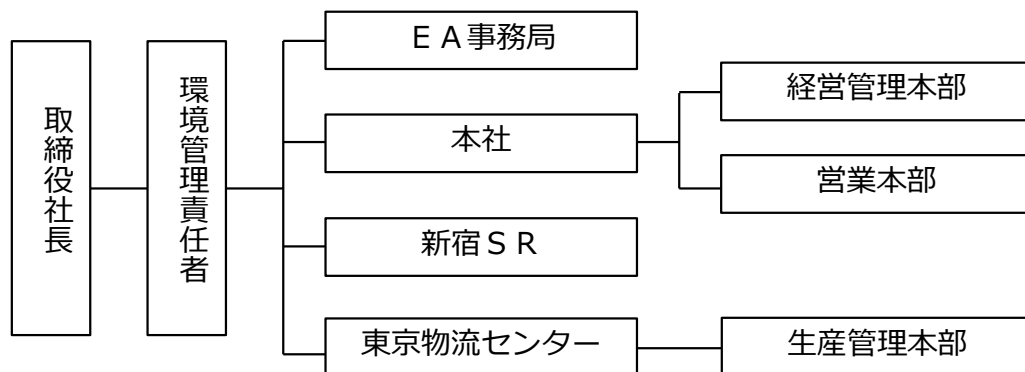
引き続き継続的な改善を希望する。

## ■ 組織概要

---

- 事業所名 : 株式会社リライнс
- 代表者名 : 代表取締役 利重義明
- 事業所 : 本社 東京都新宿区西新宿 6 - 6 - 3 新宿国際ビル新館 9 F  
: ショールーム 東京都新宿区西新宿 6 - 6 - 3 新宿国際ビル新館 1 F  
: 東京物流センター 東京都東村山市青葉町 1 - 2 4 - 5
- 事業規模 : 総従業員数80名 (2026/3時点)
- 環境管理責任者 : 中山知則
- 担当連絡先 : 経営管理グループ
- 事業内容 : 水回り製品 (トイレ・バスルーム内各種用品、アクセサリ、水栓金物、シャワー) の企画設計、販売
- EA21対象範囲 (認証・登録範囲) : 全社・全活動

## ■ 実施体制（環境組織表）



### 役割、責任及び権限

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。</li> <li>経営環境に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する。</li> <li>効果的で必要十分な実施体制を構築する。</li> <li>各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員へ周知する。</li> <li>E A 2 1 を運用し、維持するための経営資源を用意する。</li> <li>環境経営全体の取組状況及びその効果を評価し、以下の項目を含む総括的な見直しを実施し、必要な指示を行う。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①環境経営方針</li> <li>②環境経営目標及び環境経営計画</li> <li>③実施体制</li> </ol> </li> <li>環境経営システムに関する決定・承認</li> </ul>
環境管理責任者 E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境への負荷と取組の状況の把握及び評価。</li> <li>環境関連法規などの取りまとめ、並びに遵守状況の評価。</li> <li>環境経営目標及び環境経営計画の策定、並びに達成状況・実施状況の評価</li> <li>問題がある場合の是正処置、予防処置の実施。</li> <li>教育・訓練の実施</li> <li>環境コミュニケーションの実施（内部、外部、環境経営レポート）</li> <li>環境上の緊急事態への準備及び対応。</li> <li>文書類の作成・管理</li> </ul>
部門責任者 従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の達成、並びに環境関連法規などの遵守に必要な取組を実施する。</li> <li>必要に応じて手順書を作成し、運用する。</li> </ul>